

山形県立山形養護学校 空手道体験授業 実施報告

実施日：2026年1月30日(金)

場 所：山形県立山形養護学校

対 象：中学部 10名 高等部 13名 (教員 13名)

立会人；松原 光 (公財)全日本空手道連盟 学校武道推進委員
(学校法人松韻学園福島高等学校 校長)

指導者：緑川 寿幸 山形県空手道連盟 副理事長・普及指導委員長

演武者：山形県立天童高等学校

空手道部 武田輝琉愛さん 新関 梗真さん 山口 竜斗さん

昨年末に(公財)全日本空手道連盟から“学校訪問プロジェクト Karate Do!”の実施依頼を受け、山形県立山形養護学校で空手道授業を行ないました。当日は(公財)全日本空手道連盟 学校武道推進委員会委員 松原 光 氏 が立会いのもと、講師は山形県空手道連盟副理事長 緑川 寿幸 が担当しました。演武者として山形県立天童高等学校空手道部員 3名が参加しました。

この体験授業に至るまでに、高等部の生徒は基本動作(受け、突き、八字立ち、前屈立ちなど)をインターネットの動画サイトを利用して事前学習していたそうです。とはいえ、生徒だけでなく教員の皆さんも初めての空手道体験であったため、緊張した様子で授業が始まりました。

授業の冒頭、私から「基本動作の稽古の成果を是非みせてほしい」とお願いして、高等部の生徒たちに座礼・突きを披露して頂きました。生徒たちの努力と先生方の指導の成果もあり、見事な動きを見せてくれました。中等部の生徒は初めて空手道体験のため、冒頭は見学としての参加でしたが、途中から一緒に体を動かし、大きな気合を出し元気よく取り組んでくれました。その後、赤・青の手袋をつけ、基本動作(受け、突きなど)を繰り返し行い、「新聞紙割り」も体験しました。生徒の皆さんは空手道が楽しいと感じていただけだと思います。

最後に高校生が団体形(バツサイダイ)を演武しました。生徒たちは実際の動きを目のあたりにし、力強さとスピードに圧倒され興奮した様子で、『カッコいい』『凄い』と歓声とともに大きな拍手が沸き上がり授業が終わりました。

山形県空手道連盟

普及指導委員長 緑川 寿幸